

幸田町立北部中学校で防災講座を行いました

令和7年10月3(金)、幸田町立北部中学校で2年生216名に防災講座を行いました。学校の近くには相見(あいみ)川や広田(こうた)川が流れています。

講座では、広田川の堤防が決壊した平成20年8月末豪雨や幸田町でも被害があった伊勢湾台風や東海豪雨について学びました。

また、VRでの浸水疑似体験や伊勢湾台風のAI語り部との対話体験なども行い、生徒たちは水害の怖さを実感している様子でした。

代表の生徒からは、「今まで災害を他人事で見えていたけど、これからは自分事として考えたい。」
「水害の怖さを改めて知った。今日の話を家族で共有したい」などの感想がありました。

「自分の命は自分で守る、大切な人の命を守る」
今後も、大雨からの逃げ遅れゼロを目指し、誰一人取り残さない防災啓発に取り組んでいきます。

